

森林組合だより

平成 27 年 1 月 15 日
加子母森林組合 発行

年頭のごあいさつ

加子母森林組合
代表理事組合長 内木 篤志

新年おめでとうございます。

平成 27 年の新春を迎え、組合員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、日頃より森林組合の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、消費税率の変更に伴う駆け込み需要の影響で、桧丸太の価格も 4 月頃まで平均価格 2 万円台を保っていました。しかし、その後は一転し、木材市を開く度に値下がり続き 12 月の「納めの市」には 1 万 6 千円台まで値下がりしました。このため、6 月以降は森林所有者へ十分な還元が出来ませんでした。また、森林組合にとっても大変厳しい年でした。

このような中でも、間伐事業が順調に進み、目標とする材積を生産できました事は組合員皆様のご理解とご支援があったからであり、厚く感謝し心からお礼を申し上げます。

さて、今年 4 月にモクモクセンターが満 30 年を迎えます。思い起せば、国道の開通に合わせ整備されたこの施設は、組合員の持ち寄る産物の展示販売施設として脚光を浴び、道の駅建設のモデルとなりその後各地に類似した施設が建設されました。

最盛期の記録を見ると、1 日の買い物客数 693 人、売れた品数 1,720 品、売上額 1,022,400 円という日もありました。

その後、雑貨や園芸用品も扱い地域のホームセンター的な役割も担ってきました。時代とともにその役割も薄れましたが、これからも加子母林材業の拠点としてその責務を果たしていきたいと思っています。

本年も林業関係にとっては明るい話題もなく厳しい年となりそうですが、地域の森林環境を守りながら生産コスト改善に努め、良い木材の生産に向け山づくりをしてまいります。組合員皆様方の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

…東濃地域選出県議会議員・岐阜県林政部長への要望活動を実施！…

昨年 11 月 28 日に東濃地域の森林組合（陶都・中津川市・恵那市・加子母・付知町・恵南）の組合長 6 名全員で、森林組合事業や林業行政に関する要望を岐阜県議会西棟の会議室で東濃地域選出の 6 名の先生方並びに岐阜県林政部長・次長はじめ関係課長など 5 名に要望を行いました。

要望の大きな目的は、木材価格が低迷する中、森林整備に関わるより細かな補助金の充実と経営



計画樹立に関し、森林簿等の精度を上げ事務量が軽減できるよう岐阜県の対応をお願いしてきました。主な内容は、次の通りです。

- ① 近年、新植が無くなり人工林の齢級が高齢化しているため県でも再生林を推進しています。その補助対象面積を 1 反歩単位にしてほしい。（現在は 5 反歩）
- ② 立木が熊やシカに樹皮を剥がされる被害が多くなっているため、防護用資材の購入費を支援してほしい。
- ③ 災害に強い作業道を開設したいが、標準単価が低いため十分な施工が出来ない、安全な道作りに必要な事業費設定を望む。

要望活動では、早川先生はじめ各県議の応援も頂き、平成 27 年度の事業に反映される手応えを感じました。

初市

新春恒例「松の市」を開催
松に高値の入札、盛況に終わる！

1 月 6 日に今年の初市を新春恒例となった「松の市」と併せて開催したところ、多くの良材が集まり県内外各地から買い方が来られ活発な初市となりました。

市の結果は、1 m³当りの高値が、桧 81,000 円、杉 31,300 円、松 101,000 円となり、総売上は 982 万円でした。



第 749 回（初市）の市況（1 m³ 当りの平均値と高値）

樹種	長さ	径 (cm)	平均 (円)	高値 (円)
ヒノキ	3 m	16~22	16,300	81,000
	4 m	20 以上	16,000	45,100
	6 m	18 以上	26,500	60,000
スギ	4 m	24 以上	12,000	—
	4 m	30 以上	14,500	31,300
マツ	2~14 m	20~46	22,000	101,000

※ 詳しい市況は森林組合HPに掲載しています。（URL <http://www.fa-kashimo.jp>）

第 27 回 通常総代会のお知らせ

第 27 回通常総代会を **2 月 24 日（火）** 夜 7 時から間伐材利用推進センターで開催いたします。今回の議案は、平成 26 年度の事業報告、決算報告の承認などがあります。総代の方には、後日改めてご連絡します。